

特別講義

英語ギライのすすめ

英語は、できると「得」だし
「かっこいい」と思われがちだが、
実は、できると「損」をする、
または「頭が悪くなる」リスクのある、
世界で唯一の言語である。
英語習得を当然視する社会から、
あえて一歩離れて考えた
多言語習得・多言語社会論。

講師：佐野 直子氏 名古屋市立大学人文社会学部国際文化学科准教授

日時：2015年12月18日(金)13時～14時30分

場所：国際関係学部棟2階3215講義室

講師の主要著作：

佐野直子『社会言語学のまなざし』（三元社、2015年）、赤嶺淳・佐野直子編『海士伝3 海士に根ざす一聞き書き しごとでつながる島』（新泉社、2015年）、佐野直子「言語を『文化遺産』として保護するということ」（赤嶺淳編『グローバル社会を歩く—かかわりの人間文化学』新泉社、2013年）、佐野直子「すべての言語は平等である。しかしある言語は、ほかの言語よりさらに平等である—ヨーロッパの『多言語状況／多言語主義（Multilingualism）』と少数言語」（砂野幸稔編『多言語主義再考—多言語状況の比較研究』三元社、2012年）